

# まちコン通信

【第2号】

## ～はじめに～

“まちコン”は、同じ圏域であっても普段なかなか出会う機会を持ちにくい住民と専門職とが出会い、お互いのことを“知る”“学ぶ”“考える”ための場として令和元年度より開催しています。みなさまにぜひまちコンの取組を知っていただきたいと思い、昨年3月に発行した第1号に続き、今号では令和3年度の取組等について紹介いたします♪

## 令和3年度の取組

### ① まちコン～住民と専門職の出会いの場～ 10/9(土)・10/16(土)



廣長センター長



寺崎施設長



嶋宮代表

第1回目(10/9)は、神居・江丹別地域包括支援センターの廣長センター長より、地域包括支援センターの取組や地域の方とどのような関わりがあるのか等説明していただきました。また、生活支援コーディネーターから、ボランティア支援を行うまでの流れ・仕組みについて、事例を交えながら紹介いたしました。

第2回目は、社会福祉法人 鷹栖共生会 みらい(パン工房&自家焙煎珈琲Mirai) 寺崎施設長と、合同会社アイランド(たいやき そば 羹) 嶋宮代表社員を講師にお迎えし、福祉事業所のコロナ禍による現状や活動についてお話しいただきました。それぞれの事業所でコロナの影響を受けたこと、その上でどのような取組をなされたのかがよく分かりました!

### ② まちコン～ステップアップ編～ 1/15(土)



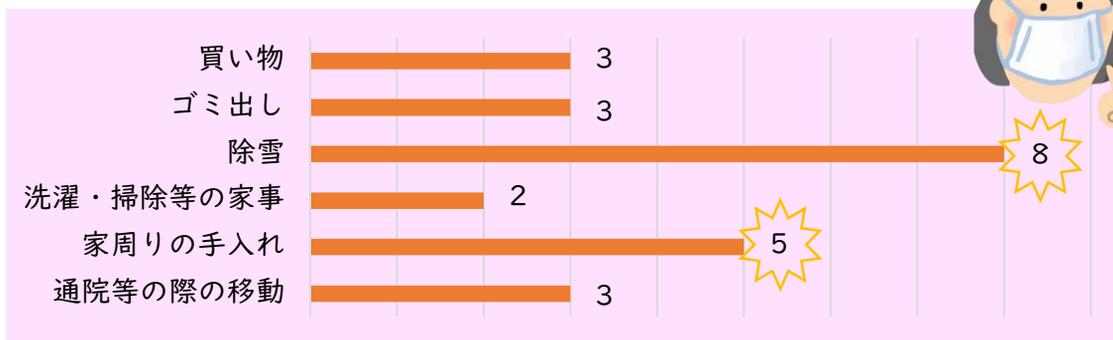
『コロナ禍の今、私たちにできることを考えよう』というテーマのもと、地域の高齢者が感じている困りごとに対してどのような解決方法があるか?ということを考え、意見交換を行いました。参加者のみなさんからは、「どの解決方法なら、実際にできそうかな?」「この方法があるなら、困りごとを解決できるのでは!？」など様々な意見が挙がりました(^^)

今後は解決に向けて取り組む困りごとの絞り込みや、具体的な解決方法の検討を行っていく予定です。

# こんなことに困っています！

10月に開催したまちコンでは、参加者へアンケートへの回答をお願いしました。地域住民が感じている困りごとを把握するため、「みなさんの周りによく聞く“困りごと”は？」という質問を設けましたところ、以下のとおりの結果となりました。

※ 回答者数12名、以下の6つの選択肢から選択、複数回答可



一番多かった回答は“除雪”、次に多かった回答は“家周りの手入れ”でした。例えば地域の高齢者の方は、身体を動かす作業となると大変に感じるのかもしれませんが。これからもこういった地域の困りごとを把握し、解決に向けてまちコンの中でも話し合いを進めていきます。みなさんのご参加・ご協力よろしくお願いたします！

## ボランティアでつながろう

圏域内ではたくさんのボランティア登録者が活躍しています。生活支援コーディネーターは、ボランティアの力を借りたい人とボランティア登録者とのつなぎ役も担っています。コロナ禍で人と人とのつながりの希薄化が続いていますが、ぜひボランティアを通してつながりを保ち、地域で支え合っていきませんか？ボランティア活動を希望される住民の方、ボランティア調整を依頼したい専門職の方等、お気軽にお問い合わせください。

これまでの調整事例♪

### ○施設内での活動

- ・有料老人ホームの入居者とのお話相手や交流
- ・放課後等児童デイサービスに通う児童との交流

### ○個別支援の活動

- ・視覚障害を抱える方の買い物付き添い
- ・枝木の剪定、草刈り ・ゴミ出し
- ・日中家族が不在にする間の声掛け・見守り

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、ボランティア調整を休止する場合があります。



### 【問い合わせ先】

旭川市5条通4丁目893-1 旭川市ときわ市民ホール1階  
社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会 生活支援体制整備事業 担当 木戸場（きどば）  
TEL：0166-23-0742 FAX：0166-23-0746

発行日 令和4年 3月 7日

発行者 旭川市生活支援コーディネーター、旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター、  
神居・江丹別地域包括支援センター、旭川市障害者総合相談支援センター あそーと